

【記載例】

別記様式第1号

車名・型式・車体番号の各欄については自動車検査証等の内容を正確に記載してください。
 ※車体番号欄について、申請段階で確定していなければ空欄でも可能です。

単位がセンチメートルとなっています。
 記載に注意してください。

車名	型式	車台番号	長さ	幅	高さ	大きさ
〇〇〇〇	ABC-〇〇〇〇	ABCDE-123456	440	165	156	センチメートル
自動車の使用の本拠の位置	奈良市登大路町〇〇〇					
自動車の保管場所の位置	奈良市登大路町〇〇〇					
※保管場所標章番号						
自動車の保管場所の位置欄記載の場所は、申請に係る自動車の保管場所として確保されていることを証明願います。 年 月 奈良警察署長 殿 〒 (〇〇〇-〇〇〇) 申請者 住所 奈良市登大路町〇〇〇 保管場所を管轄する警察署名となります。 () 局 氏名 奈良 太郎						
自動車保管場所証明書 自動車の保管場所の位置欄記載の場所は、上記申請に係る自動車の保管場所として確保されていることを証明する。 年 月 日 警察署長 印						

【使用の本拠の位置欄】

- 個人の場合
 - ・実際に居住している所在地を記載してください。
 - ・基本的には申請者住所地と同一になります。
- 法人の場合
 - ・実際に営業している所在地を記載してください。

※使用の本拠の位置が申請者住所地と異なる場合の申請については、使用の本拠の位置に関し、聴取させてもらう場合があります。

【保管場所の位置欄】

- 本拠の位置と保管場所の位置の距離は2km以内が限度となります。

※使用の本拠の位置と保管場所が同一の場合であっても、「同上」と記載することは避け、正確な住所を記載してください。

【申請者住所・氏名欄】

- ・実際に居住している所在地を記載してください。
- ・住民票等を確認し、旧字体等、誤りのないよう記載してください。
- 法人の場合
 - ・登記簿の所在地、法人名、代表者名を記載してください。

備考

- 次に掲げる場合は、所在図の添付を省略することができる。ただし、警察署長は、保管場所の付近の目標となる地物及びその位置を知るため特に必要があると認めるときは、所在図の提出を求めることができる。
 - 自動車の使用の本拠の位置が、旧自動車（申請者が保有者である自動車であって申請に係るもの以外のものをいう。以下同じ。）に係る使用の本拠の位置と同一であり、かつ、申請に係る場所が旧自動車の保管場所とされているとき。
 - 自動車の使用の本拠の位置が、保管場所の位置と同一であるとき（(1)に該当する場合を除く。）。
- 1 (1)に該当することにより所在図の添付を省略する場合は、※印の欄に旧自動車に表示されている保管場所標章に係る保管場所標章番号を記載すること。
- 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

申請車登録番号
旧自動車登録番号
旧自動車車台番号

1 証明書交付後の訂正は認められません。
 2 本記載例は一般的な例となっています。不明な点は管轄する警察署に確認してください。